

2019年2月25日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 宮崎 俊郎  
(コード番号 6269 東証第1部)  
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

## 西アフリカ・セネガル沖合 SNE 油田向け FPSO の基本設計業務を受注

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)の米国子会社 MODEC International, Inc.は、オーストラリアのエネルギー大手 Woodside Petroleum Ltd.(以下「ウッドサイド・ペトロリアム社」、本社:パース市)より、同社の子会社を通じ、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)の FEED(Front End Engineering Design:基本設計)業務を受注しました。

当社グループは、ウッドサイド・ペトロリアム社グループがオペレーターを務め、西アフリカのセネガル沖合で開発中の Sangomar(サンゴマル)鉱区内 SNE 油田に設置予定の FPSO の基本設計業務と共にプロジェクトコストの積算業務を行います。本業務を受注したのは当社グループだけであり、2019 年内に見込まれる油田開発プロジェクトの FID(Final Investment Decision:最終投資決定)が行われ次第、当社グループが本 FPSO の建造及びチャーター(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)契約を受注することとなります。

日量 10 万バレル前後の原油生産能力を想定する本 FPSO は、水深約 800m の海上に係留され、2022 年に稼動を開始する予定です。

近年、西アフリカ沖合では新規の大規模油田が次々に発見されており、今後とも新規 FPSO の需要が期待されます。当社グループは、大型で複雑な FPSO を数多く設計・建造しオペレーションしてきた実績を活かせる分野として、ブラジルや西アフリカ海域などの大水深で難度の高い FPSO プロジェクトの受注に注力しています。西アフリカを最も重要な市場のひとつと位置付ける当社グループは、ナイジェリア、ガボン、カメルーン、コートジボアール、赤道ギニア、ガーナ及びアンゴラ向け計 10 基の浮体式設備の設計・建造を手掛けてきた他、ガーナ及びコートジボアールにおいては建造後の FPSO のオペレーション事業も展開するなど、同市場での圧倒的な実績を誇っています。

SNE 油田は、セネガル・ダカールの南方約 100km 沖合に位置する深海油田であり、本プロジェクトはセネガルで初の海洋油田開発プロジェクトとなります。

### 三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。

<https://www.modec.com/jp>